

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】河内長野市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
39	2010.1.29			大阪府	河内長野市	116,966	109.61
構想の要約		河内長野市は、市域の7割が森林という特性を活かし、薪ストーブを公共施設に設置し、薪等の利用を行うなど木質バイオマスの利活用や、従前から拠点回収を行ってきた廃食用油をSVO又はBDFとしてエネルギー利用に取り組むなど、河内長野らしい豊かな自然を活用した「環境調和都市」の実現を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		廃食用油利活用 木質バイオマスの利活用 薪ストーブ設置					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他( )		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他( )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(ペンキ、石鹸)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

(単位：t/年)

区分	賦存量		仕向量		利活用方法	利用率
	湿潤量	炭素換算量	湿潤量	炭素換算量		
廃棄物系バイオマス	30,578	3,441	9,154	1,924		55.9%
食品資源(家庭系廃食用油)	82	70	82	70	エネルギー化	100.0%
木質資源(製材工場残材)	211	77	195	71	燃料化	92.2%
木質資源(建設廃材)	3,083	1,357	2,466	1,085	燃料及びバイオエタノール精製	80.0%
木質資源(収集剪定枝) 公園・街路樹・庭木	1,644	723	1,262	555	たい肥化又はエネルギー化	76.8%
下水汚泥(浄化槽汚泥)	12,838	95	3,852	29	汚泥発酵肥料化(販路拡大)	30.5%
食品資源(生ごみ) 一般廃棄物	12,653	1,113	1,265	111	たい肥化	10.0%
食品資源(動物性残さ) 食品産業由来	67	6	32	3	たい肥化	50.0%
未利用バイオマス	2,216	652	855	262		40.2%
農産資源(稲わら)	1,110	317	6	2	たい肥化	0.6%
農産資源(もみ殻)	240	69	48	14	たい肥化及び燐炭	20.3%
林産資源(林地残材)	866	266	801	246	エネルギー化(薪)及びマテリアル利用	92.5%

バイオマスタウン構想概要図  
 (バイオマスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--